

## コロナウィルス感染症対策方針(改訂版) R4.7.20 改訂

大阪高体連テニス専門部

- ①エントリーの際、必ずダウンロードした健康チェックシートに必要事項を記入の上、提出すること。  
37.5℃以上の発熱・咳などの症状がみられる場合、出場は出来ない。なおチェックシートは試合日ごと、毎回提出すること。
- ②観客については、予選では出場選手・顧問のみ入場可とし、無観客とする。本戦では感染チェックシートを提出した者のみ入場可とする。健康チェックシートを提出した際、本部より入場許可証を渡すので、会場内に居る際は常に携帯すること。
- ③プレー中以外は、必ずソーシャルディスタンスを遵守しマスクを着用すること。自身が着用しているマスクについては、使用時以外はビニール袋に入れるなど、管理を確実にすること。なお試合終了直後などの体温の上昇時や、気温が高温になった時などは、マスクを外すこと。ただしその際、必ず他の人と適切な距離を取り、向かい合っでの会話・飲食は避けること。
- ④各試合では審判を付けずに、セルフジャッジで行う。スコアボードを使用する際は、ボードのそばに消毒液の用意をするので、エンドチェンジの際にドロ番号の小さい選手が両者の得点を入れ、その都度消毒液で消毒すること。
- ⑤試合の前後には必ず手指の消毒を行うこと。
- ⑥オーダーオブプレーは、本部役員のみ動かすことになるので、選手は触らないこと。
- ⑦選手同士でボールをやり取りする際、ラケットを使用するなどして、なるべく直接ボールに触れないようにすること。エンドチェンジの際は、ベースライン付近にボールを置くなどすること。
- ⑧ダブルスの試合に際して、ペア同士で接近してのコミュニケーション・ハイタッチなどの行為は禁止する。ベンチでの休憩の際も、適切な距離を取ること。
- ⑨試合終了後の握手は禁止する。終了後互いにネットから1m離れて、礼をすること。これを終了の合図とみなす。
- ⑩その日の試合が終了したら、速やかに帰宅すること。他の選手の試合観戦などは、原則として行わないこと。また顧問などからの試合後のアドバイス行為も、出来る限り後日等に行うこと。
- ⑪急な天候の悪化による屋内待機は「密集」となってしまうので、原則として屋外待機とする。よって各自で雨具等を用意してくること。
- ⑫手指の消毒のためのアルコールなどは本部で用意をするが、出来る限り各自でも用意をしてもらうこと。